

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



なごや  
ちくさ  
WEEKLY

名古屋千種ロータリークラブ  
承認 1982年 8月24日  
例会日 火曜日 12:30  
例会場 愛知厚生年金会館  
事務局 千464 千種区池下一丁目4番18号  
井上ビル4F D号  
Tel 763-5110  
会長 竹内真三

No.15 (1983~1984)

みんなにロータリーを —— みんなに奉仕を  
Share Rotary —— Serve People

1983~84年度RI会長 ウィリアムE. スケルトン

## 第59回例会 昭和58年10月11日(火)晴

### ◇“奉仕の理想”

### ◇出席報告

会員 48名 出席 36名  
出席率 76.60%

### ◇前回 10月4日(修正出席率) 97.87% make up

安藤君(10/6瑞穂), 深見君(10/3東), 鈴木(正)君(10/6東南), 手島君(9/28和合), 和田君(10/8守山)

### ◇ビジター紹介 8名

### ◇誕生日祝福

成田夫人(10/14), 和田夫人(10/14), 加藤(保)夫人(10/17), 久保田夫人(10/18)

### ◇ニコボックス

秋山君(本日の講演者の紹介をさせて頂きます), 谷口君(中日新聞に掲載されました), 水野(民)君(寛仁親王殿下が星ヶ丘ボウルに御台臨。身障者の社会参加につき御激励され感激いたしました), 矢野君(サントリーの広告で新聞に掲載されましたので), 水野(民)君, 古川君, 加藤(大)君, 谷口君, 寺澤君, 杉山君, 黒須君, 成田君, 菊池君, 橋本君, 新美君, 林君, 大口君(ガバナー公式訪問が無事終了しましたので), 鈴木(正)君(このたび次男が公認会計士の登録を致しました), 加藤(敏)君(本日早退させて頂きます)

### ◇谷口副幹事報告

1. 次回例会は16日(日), 17時30分より星ヶ丘ボウルにて家族会を行います。従って18日(火)の例会はございませんのでお間違いないようお願いいたします。
2. 第265地区野洲R. C. の認証状伝達式の御案内が来ております。参加希望者は事務局までお申し出下さい。

### ◇加藤(敏)君3分間スピーチ

本日早退させて頂きますのも, 御婦人3人ものアキレス腱の手術が控えているからであ

ります。当病院でこうした怪我の患者が頻繁にあるのは残念です。どうぞスポーツをする前は準備体操を充分に行ってから楽しむように御注意下さるようお願いいたします。

### ◇秋山青少年奉仕副委員長報告

10月2日(日), 第7回ローターアクトクラブ会長幹事・部門別協議会が豊橋市の勤労福祉会館にて, ローターアクトクラブ会員153名, ロータリアン169名の参加のもとに開催されましたので御報告申し上げます。お話しの中で, 第260地区内の結成率は12%で, 平均30%の率を低く下回っております。今後どのように増やしていくかを青少年奉仕委員会の研究材料に, 当クラブの課題として進めていく所存ですので, 皆様の御協力をお願いします。

### ◇竹内会長挨拶

先週は奥澤ガバナーをお迎えて公式訪問を無事に終了いたしました。当日の例会での特別スピーチでは, Share Rotary の中, 会員増強と質に関連して『Rの質』とは『そのメンバーの財力でもなければ社会的地位で決まるものでもない。勿論その側面はあるけれどもRの精神にそって活発なる action を起こせるメンバーを如何に多く確保するかで決まる』と仰言っておられました。常々ラベルボタンメンバーであってはつまらないと申し上げている私としては我が意を得たりの面持ちで拝聴いたしました。

例会前のガバナーと会長幹事等との懇談では, 主として新生RCとしての『会員間のコミュニケーション』が一大テーマとなりました。

参考までに申し上げますと, ①移動の少ないメンバーを中心に運営する ②例会外の例会を機会をみてなるべく多く開催する ③趣味の会を活発にする④委員会の開催を義務付

けて会長から指命する ⑤委員会も複数の委員会を合同で開き組合せを随時変更して開催する ⑥夜間例会の型式が隔意のない雰囲気醸成にはよろしかろう ⑦ロータリー情報の一層の徹底をはかる ⑧同じR.C.のメンバーとはいえ、年齢、職業、趣味等々でグループ化し勝ちである、この gaps を積極的に除く手段を理事会等で勘案されたら如何等々雑談的に御指示を頂きました。

又当千種R.C.では未だ問題にはなりません、年数を経ますとロータリー歴の古い人と新しい人との隔たりが生ずるそうですし、又一方会費の軽減とクラブ規模の問題も話題にのびました。

例会後のガバナーと各委員長とのアセンブリーに関しては、機会をみて各委員長より報告をして頂きたいと考えております。話は変わりますが『名古屋甚句』というのがあります。前唄があり、本唄があり、そのあとに名古屋名物というのがつきます。私も一時今はじき家元の甚豊姐さんに直々に教えて頂きましたが、その一つを御紹介します。

「名古屋名物 おいて頂戴にも すかたらんに おきやァせ。ちょっとも だちやかんと ぐざるぜえも。そうきやも そうきやも なんてあァも。いきやすか おきやすか どうしあァす。お前様この頃どうしやァた。何処ぞに姫でも出来せんか。出来たら出来たと 言やァせも。私も勘考があるわァも。おそぎやァせえも」と速口に一気に唄う訳であります。

本日秋山君の御紹介で朝日新聞の竹内さんに「東京ことば・名古屋ことば」でスピーチを賜ることになりました。名古屋甚句の名古屋なまりには些か誇張があり、歴史的名古屋弁とも言えませんが、さて視角を変えてどんなお話が承られるか楽しみであります。

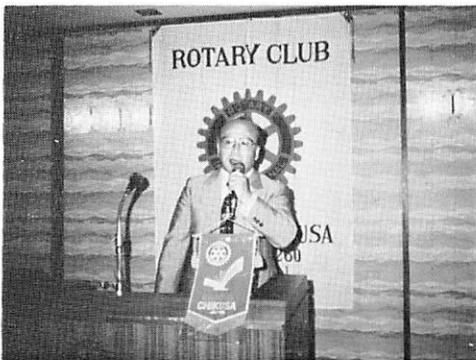
#### ◇ 講演

“東京ことば・名古屋ことば”

朝日新聞編集委員 竹内 俊男氏

(紹介者 秋山君)

名古屋弁は汚い、と東京人は言う。大阪人も同じようなことを言って批判する。そして当の名古屋人まで、名古屋弁は汚いでねえ、



などと言って嘆く。名古屋弁とはそんなに汚いものだろうか。

皆さんは、こんなことを経験したことはないだろうか。息子や娘の服装や言動が気になって仕方がない。注意すると、隣のだれだれちゃんだって同じことをしているのに、なんで僕(私)だけ叱られるのか、と口答えをする。ついカッとなって怒鳴る。しかし冷静になって考えてみると、息子たちの言う通りなのだ。だが、やっぱり気になる……。それは親子という血のつながりがあるからなのだ。つまり「同質」だと、磁石の同極が反発し合うように、互いに排除し合うような力が働くのである。

名古屋弁の立場にも、そういうところがあるように思われる。つまり名古屋弁は、東京語と同質(たとえば東京も名古屋も同じ2種アクセント)なのだが、親子の顔や性格に違うところがあるように、異質なところがある。それが気になって仕方がない。大阪弁との関係も似たようなもので、それが反発を生む。そこで、東京と大阪の両方から、名古屋弁は汚い、と言われる。繰り返し言われると、つつい名古屋人自身も、名古屋弁は汚い、と思ひ込むようになる。具体的に言うと、

東京のことばと同質なもの——大根や魚は煮ル(関西は炊ク)。本は買ッテクル(関西は買ウテクル)。ペンを借りル(関西は借ル)など。

関西と似た言い方をするもの——味噌汁がカライ(東京はショッパイ)。そんなことヨーヤランワ(東京はトテモデキナイヨ)など。

そこへ名古屋独特と思われるナモとか、～ガヤとかか加わる(実は、これらは他の地方にもあるのだが)。そうして先ほど話したような心理過程を経て「名古屋弁は汚い」という評価が生まれるのである。

それでは「美しい」と感じられている東京語の場合はどうか。実は東京語というのは、その歴史をたどれば、粗野だとされた時代があった(ロドリゲス『日本大文典』)し、べえべえ言葉といわれる関東語が母体だ。東京語の敬語体系だって、江戸時代に、京都の「御所ことば」を輸入してできあがった「お屋敷ことば」を引き継いだものだし、標準語としての地位も、明治の中期以後、ようやく確立したものだ。今の東京人が誇るほどのこともないのである。

英語とフランス語とドイツ語の、どれが最も汚いか、などという問いがナンセンスであるように、どの方言が美しく、どの方言が汚い、などというのは、全く非科学的だ。

(文責・秋山)

#### ◇ 次回例会 (10月16日)

秋季家族会の為、卓話はありません。

#### ◇ 次々回例会 (10月25日)

講演 “知られざるアメリカ”

ロングビーチ禅センター主監 松岡 操雄氏

(紹介者 杉山君)